

# グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 57号  
2022.8

発行:NPO法人  
みどりの市民  
〒380-8553 長野市若  
里 4-17-1 信州大学  
工学部 UFO ながの  
高木研究室内  
発行人:高木直樹

## 《 上映会を支援します～上映団体を募集～ 》

### 映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る 2050 年～」

みどりの市民では、海ごみの削減を目指して、映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る 2050 年～」の上映の支援活動を行っています。資金は、早川美容商事からの寄付金 5 万円を活用します。

★ 支援内容/次の 2 つです。

① 上映費の支援 200 \$ (但し 1 団体最高 20000 円まで、不足金は団体で負担)  
(\* ドル建て支払いのためレートにより円換算の時価が異なる)

② 上映のサポート ・アメリカの制作団体 (カフェテリアカルチャー) との交渉

★ 対象団体/私立学校、NPO などの団体  
\* 公立の小中学校はご相談ください。  
(詳しくは事務局まで)

但し 5 万円が終了した時点で打ち切りになります。



プラスチックごみによる環境汚染問題を学んだ、ニューヨーク・ブルックリンの小学 5 年生たちを導いたドキュメンタリー。世界的に注目を集めるプラスチック汚染問題。ブルックリンの小学 5 年生たちがこの問題を学び、彼らならではの視点で問題の根幹をすくもく問いただし、解決に向かってアクションを広げて行くまでの 2 年間を追う。

## 環境活動資金として寄付金 5 万円 = 早川美容商事から贈呈される =



理美容商品の企画販売等を手掛ける早川美容商事 (長野市稲葉、早川芳弘社長) より、子どもたちの環境活動に活用して欲しいと、カラー剤容器をリサイクルして得た収益金 5 万円が寄付された。

5 月 24 日、事務局のある信州大学工学部 UFO ながの 5 階で贈呈式が行われ、高木代表は早川社長より目録を贈呈された。

この活動は、これまで産業廃棄物として廃棄されていた、美容室でヘアカラーをする際に使用するカラー剤のアルミチューブをリサイクルする活動。

このアルミ製カラーチューブは 1 本あたりの重量が大小平均 10 g で貴重なアルミ (\*) という。今回は、長野県内約 70 軒の美容室の協力で、2021 年 9 月から開始し、約 3 万本が換金された。 (\* 日本では年間美容室で使用されるアルミ製ヘアカラーチューブは約 2 億 4 千万個、アルミとしては純度が高いがカラー剤付着のため産業廃棄物として廃棄されていた。早川美容商事のプレスリリースより)

### 「Hair Color SDGs Project」とは?

5 換金したお金を [NPO法人みどりの市民]へ寄付



[NPO法人みどりの市民]は、持続可能な社会をつくり心豊かな自然と地域を子供たちに残していくことを目的に活動している団体です。  
(<http://midorinoc.sub.jp>)

4 アルミを回収して業者に持ち込み換金する



1 お客様が当店でヘアカラーをする



2 カラーチューブのゴミが出る



3 チューブのカラー剤を最後まで絞って折りたたむ



# 2022年度 通常総会 開催

～今年も新型コロナウイルス感染拡大防止対策で実施～

今年の総会は、5月13日（土）《6月2日付》、ふれあい福祉センターでリアルとZoomのハイブリッド開催で実施しました。会員総数42名のうち出席者数36名（出席14名、Zoom参加1名、委任状21名）により総会が成立。役員改選案、2021年度活動報告及び2022年度活動計画案が承認された。詳しくはみどりの市民HPをご覧ください。



## 生ごみ減量アドバイザー養成講座 5回シリーズ開催

みどりの市民は、長野市生活環境課から生ごみ減量アドバイザー養成講座、研修会、アドバイザー派遣の企画運営及びコーディネーター業務を委託されています。養成講座は2～3年毎に開催し、今年で第7回目。5月13日を初日として全5回シリーズ、会場は長野市ふれあい福祉センターで実施しました。特に第2回の講演会は生ごみ減量アドバイザーの研修会も兼ねて公開講座として、会場及びZoom参加のハイブリッド方式にチャレンジし、合計68名の参加者がありました。



7月12日 修了式 5日間共に学びました。

養成講座修了生は12名

≪ 講座内容 ≫ ( )内は講師氏名、☐は受講生の感想印象に残ったこと

5月13日 開講式、長野市のごみ処理の現状、生ごみの堆肥化の基礎、段ボール堆肥実践、生ごみの減量とSDGs (高木直樹氏)

☐ **ごみに使われる税金の多さと生ごみは燃やすものではない**

5月27日 講演会「有機農業と生ごみ堆肥化の意義」(吉田太郎氏)

6月10日 生ごみの堆肥化実践(コンポスト)、土作りと野菜づくり (細井千重子氏) ☐ **土は生命の源、グリーンマルチ、楽しく**



6月10日細井先生



6月24日岡村先生

6月24日 家庭ごみと食品ロス、エコ・クッキング実践のために (岡村恵美子氏) ☐ **エコ・クッキング 食材を使い切ること**

7月12日 地域で活かすために講義とワーク (戸田千登美氏)、修了式

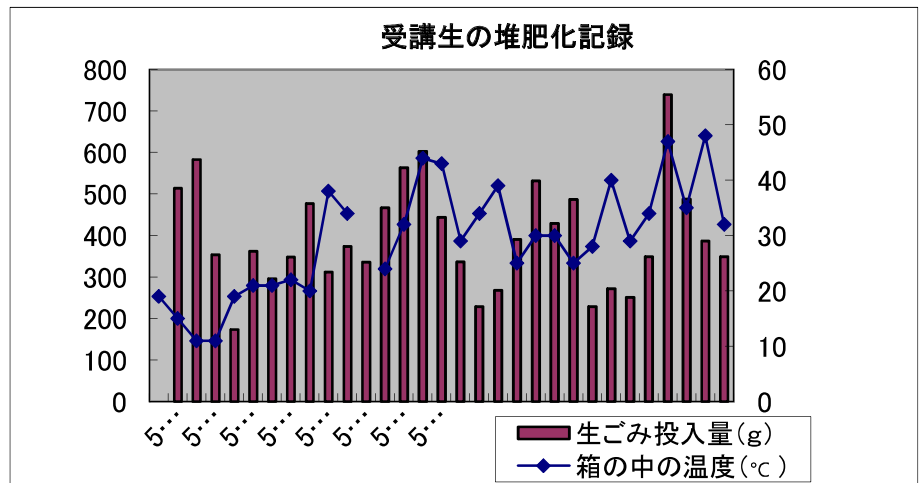
☐ **ゆるーい会・居場所のあることの意義**



7月12日ワーク

### ワークショップから (抜粋)

- ・家族の意識を変えていく
- ・まずは隣近所の人に ・将来に繋ぐ
- ・アフターフォローの大切さ
- ・可視化⇔環境にいいお店
- ・生活保護、生活要支援者⇔有機食材で



30日間で12kgの生ごみが堆肥化され、削減した。

段ボール箱内の最高温度 50°C

## 5月27日講演会「有機農業と生ごみ堆肥化の意義」に参加して

生ごみ減量アドバイザー 小杉良子

講師に迎えた吉田太郎氏は、アグロエコロジー研究家で元長野県農業大学校教授。2008年に講演をお聞きしたことがあり今回もお話を楽しみに参加しました。



最初に生ごみは長野市の救世主と前置きをされ、県内松川町での有機農業による学校給食の取り組みが脚光を浴びていること、さらに土壌微生物が窒素を固定するため窒素肥料は不要であり、草木のみで一切肥料を入れずに美味しい野菜ができること、また千葉県他の自治体でも子供たちに美味しく安全なものを食べさせたいという有機給食が広がりつつある現状をお聞きしました。

ご近所農家の友人から季節の野菜が届くと有

難く頂くのですが、今年のように野菜の高値が続くと手頃な値付けをされた野菜の購入時には心が揺らぎます。

生ごみ処理には税金が投入され燃焼により二酸化炭素が発生します。そして「食品ロス問題」

は深刻で三分の一に当たる食品は廃棄され、7億もの人々が飢餓状態であると知り、こうした多くの深刻な問題に目を背けずにこれからも自分の出来ることを一つずつ、友人と共に行動に移していきたいものです。

そして、「ほんまもん野菜」を支えているのが「土づくり」。この講演からの学びを糧としていっそう堆肥づくりに励みたいと思います。

## るるネット報告

### 「生ごみ堆肥化」はSDGsの取り組み

～今年の目標は会員数70 現在会員60～

生ごみと竹基材・野菜をつなぐネットワーク「どんぐり・るるネット（通称：るるネット）」は、今年で4年目、今ブレイクしています。長野市民新聞6月2日付け、週刊長野7月3日付けのいずれも1面に掲載されました。

信州西山地域で遊休荒廃地のどこにでも生えてくる淡竹。その淡竹を活用し、家庭の生ごみの堆肥化を進め、土に還し、美味しい野菜を育てよう・美しいお花を咲かせようという取り組みが、「るるネット」です。



運搬作業中のエコーンファミリー

今年から、竹チップ配達と一次生成物回収の運搬を、「西山淡竹会」から「社会福祉法人花工房福祉会エコーンファミリー」に委託先を変えました。エコーンファミリーは障がい者の方たちの就労支援をしている団体です。エコーンファミリーの参加で、るるネットの実践は、会員さんの生ごみの堆肥化が、ごみの削減、西山地域の環境保全、障がい者支援、地球温暖化防止にも繋がります。SDGsの取り組みができます。

### ◆◆◆「2022エシカルふえす inNAGANO」開催のお知らせ◆◆◆

とき：9月30日(金)10月1日(土) ところ：長野市市役所西側広場(通称桜スクエア)

コロナ禍でも開催可能な「エシカルふえす」を目指し、エシカルな取り組みのイメージビデオの募集をしています。応募、取材依頼どちらでも可能、完成したものは随時「エシカルふえす」のサイトにアップしていきます。ビデオの長さは5分以内。詳しくはみどりの市民内のエシカルふえす実行委員会まで。

# みどり農園へ行こう！

みどり農園作業一気に公開（みどり農園ブログより）

百姓は楽じゃねーや、でも楽しい！！

## 🍎 初仕事 4/16(土)

今年も農園作業が始まりました。朝9時に10人(子供2人含む)が集合。今年もマスク着用です。皆の元気な笑顔を確認し、ジャガイモから種まきです。小ぶりの"種イモ"を包丁で2つにカットし、灰の代わりに石灰をつけて30~40cm間隔に蒔き、そのあと土を掛ければ完了。今年は「男爵」「キタアカリ」「メイクイン」の三種類。その他「菊芋」「里芋」「ゴーヤ」と「もろこし」「南瓜」を少しづつ蒔きました。収穫が楽しみです。サツマイモと大豆は次回です。暖かな日差しの中、作業は草取りも含め一時間と少しで終了しました。



## ★ サツマイモの苗植え 5/21(土)7人(子ども1人)

## ★ 大豆の種まき 6/12(日)



前日の雨で足元が悪い中、14人(子供3人)が参加。水分を含む重たい土に苦戦しながら種を2粒ずつ畝に蒔いていきます。畝を切る人、種を蒔く人、土を掛ける人と手分けしてスムーズに作業が進められました。

畝を切る人は腰痛に注意しながら悪戦苦闘！！

それでも作業は順調に進み予定より早く45分間で終了、一旦解散とし、時間のある方に草取りを30分間お願いし、終了後散会。

サツマイモも無事根付き、畝の草取りで周囲もさっぱりしました。

今年初めて挑戦した里芋、菊芋、ゴーヤは芽吹き始めましたがまだまだこれからです。



## ★ 大豆の土寄せ 7/2(土) 8名(子ども2人)

## 🍎 ジャガイモ掘りと草取り 7/23(土)



朝方少し雨がぱらつきましたが何とか作業はできそうで安心しての開始。12人(子供3人)で草取りと芋ほりを手分け。都合で早く引き上げる2家族に芋ほりを先行してもらいました。「男爵」「北あかり」「メイクイン」の三種とも実は大きく、特に男爵は「豊作」！！

大豆の発芽はいまいちでしたが順調に生育し、その周りの除草を10:30までに終えて、芋もきれいに片づけ終わったのは11時でした。コロナと熱中症は何とかスルーできました。

もう次回は10月の大豆収穫です。(その他のサツマイモ、サトイモ、ヘチマなども何とか順調です)



《報告 みどり農園担当/理事山口 写真/渡辺》



## お知らせコーナー



エコサロン ハチマでSDGsにチャレンジ

- ・日時/10月4日(火)10時~12時
- ・場所/ふれあい福祉センター 4階和室、調理室、
- ・参加費/500円
- ・定員/10人
- ・内容/ハチマタワシで脱プラ、お肌にも環境にもやさしい化粧水、今年は食にもチャレンジ

《\*行事等はコロナの感染状況により変更の可能性がありますので、事務局及びHPでご確認下さい。》

みどりの市民の会員数 (2022年5月13日現在)  
 正会員 42人 賛助会員 14人 団体賛助会員 1団体  
 〒380-8553 長野市若里 4-17-1

信州大学工学部 UFO ながの高木研究室

TEL&FAX 026-269-5092

E-mail: midorit18@shinshu-u.ac.jp

URL <http://midorinoc.sub.jp/>



### 《キャンパスの一隅にて》

元アメリカの副大統領ゴアの「不都合な真実」から16年、温暖化を実感する毎日。私たちは予測をしながら、防止することができないでいる。適応策、緩和策、どちらも必要。一人一人何かしなければ！そういいながら、熱中症にならないようにと冷房を入れ、コロナに感染しないようにと使い捨てプラスチックの恩恵にかかっている日々。人間のエゴ。(hw)